

ユースケース名		ログインする(UC001)
目的（ゴール）		お客様の会員情報がシステムに承認され、権限に応じて他のユースケースを実行できるようになる
アクター		教員、学生、管理者
開始条件（起動トリガー）		ログイン画面を表示する
事前条件		・教員、学生、管理者の情報がシステムに登録されていること
事後条件		・教員、学生、管理者が権限に応じて他のユースケースを実行できるようになること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 アクターがシステムにログインを要求する 2 システムはアクターにユーザ情報（メールアドレス、パスワード）の入力を求める 3 アクターは自分のユーザ情報を入力する 4 システムは入力されたユーザ情報が有効なものかを確認する 5 入力されたユーザ情報が有効なものだった場合、システムはアクターが権限に応じて他のユースケースを実行できるようにする
	代替フロー	Alt-1：メールアドレスが入力されていないか、書式が誤っている場合 1.システムは「メールアドレスを正しく入力してください」と表示する 2.メインフロー2に戻る Alt-2：パスワードが入力されていなかった場合 1.システムは「パスワードを入力してください」と表示する 2.メインフロー1に戻る Alt-3：ユーザが存在しない場合 1.システムは「メールアドレスまたはパスワードが正しくありません」と表示する 2.メインフロー2に戻る Alt-4：パスワードが一致しなかった場合 1.システムは「メールアドレスまたはパスワードが正しくありません」と表示する 2.メインフロー2に戻る

	例外フロー	Ex-1：DB と接続できなかった場合 1.システムは「システムエラーが発生しました」と表示する 2.システムはこのユースケースを中断する 事後条件 ・システムは待機状態に戻っていること
備考		1. 代替フロー3 と代替フロー4 のメッセージが同じなのはわざとです。メールアドレスが登録済みか第三者に知られないよう曖昧な表現にしています。

ユースケース名		ログイン状態からパスワードを変更する(UC002)
目的（ゴール）		パスワードが新しいパスワードに変更される
アクター		教員、学生、管理者
開始条件（起動トリガー）		ユーザがシステムにパスワード変更要求をする
事前条件		ユーザがログインしていること
事後条件		ユーザの新しいパスワードがシステムに登録されていること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 アクターは、システムにパスワード変更要求をする 2 システムはアクターにパスワードの入力を求める 3 アクターは、パスワード、確認用パスワードを入力する 4 システムは、入力されたパスワードが有効なものかを確認する 5 システムは、入力されたパスワードが有効なものだった場合、パスワードを更新する 6 システムは、「パスワードの変更が完了しました」と表示する 7 アクターはシステムの表示を確認する 8 UC001 に戻る
	代替フロー	Alt-1 入力されたパスワードと確認用パスワードが違う場合 1.システムは入力されたパスワードに誤りがあることをアクターに提示する 2.メインフロー2 に戻る
	例外フロー	Ex-1：DB と接続できなかった場合 1.システムは「システムエラーが発生しました」と表示する 2.システムはこのユースケースを中断する 事後条件 ・システムは待機状態に戻っていること
備考		

ユースケース名		非ログイン状態からパスワードを変更する(UC003)
目的（ゴール）		パスワードが新しいパスワードに変更される
アクター		教員、学生、管理者
開始条件（起動トリガー）		ユーザがシステムにパスワード変更要求をする
事前条件		なし
事後条件		ユーザの新しいパスワードがシステムに登録されていること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 アクターは、システムにパスワード変更要求をする 2 システムはアクターにメールアドレスの入力を求める 3 アクターは、メールアドレスを入力する 4 システムは、入力されたメールアドレスが有効なものかを確認する 5 システムは、入力されたメールアドレスが有効なものだった場合、メールを送信する 6 アクターは送られてきたメールの URL を押下する 7 システムはアクターにパスワードの入力を求める 8 アクターは、パスワード、確認用パスワードを入力する 9 システムは、入力されたパスワードが有効なものかを確認する 10 システムは、入力されたパスワードが有効なものだった場合、パスワードを更新する 11 システムは、「パスワードの変更が完了しました」と表示する 12 アクターはシステムの表示を確認する 13 UC001 に戻る
	代替フロー	Alt-1 入力されたメールアドレスが不正な場合 1.システムは入力されたメールアドレスに誤りがあることをアクターに提示する 2.メインフロー2 に戻る Alt-2 入力されたパスワードと確認用パスワードが違う場合 1.システムは入力されたパスワードに誤りがあることをアクターに提示する 2.メインフロー7 に戻る
	例外フロー	Ex-1：DB と接続できなかった場合 1.システムは「システムエラーが発生しました」と表示する

		2.システムはこのユースケースを中断する 事後条件 ・システムは待機状態に戻っていること
備考		

ユースケース名		出席データを入力する(UC004)
目的（ゴール）		学生の出席情報がシステムに登録される
アクター		学生
開始条件（起動トリガー）		学生が学生証を非接触 IC カードリーダーにかざす
事前条件		・システムに学生の情報が存在すること
事後条件		・学生の出席情報がシステムに登録されていること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イベントフロー	メインフロー	1 アクターが学生証を IC カードリーダーにかざす 2 IC カードリーダーが学生証の情報（氏名・学籍番号・学年・在籍クラス）を読み込む 3 IC カードリーダーが読み取った情報をシステムに送信する 4 システムは、受信した学生情報が有効なものかを確認する 5 システムは、受信した学生情報が有効なものだった場合、出席情報を登録する
	代替フロー	Alt-1 IC カードリーダーが学生証の情報を読み取れなかった場合 1. IC カードリーダーがアラートを鳴らす 2. メインフロー1 に戻る
	例外フロー	Ex-1：メインフロー4 で受信した学生情報が無効なものだった場合 1. システムは無効な学生情報をエラーログに書き込む 2. システムは待機状態に戻る 事後条件 ・無効な学生情報がエラーログに書き込まれていること ・システムが待機状態に戻っていること
備考		前提条件：アクターは日本工学院の学生であり、学生証を所持していること

ユースケース名		自分の出席を確認する(UC005)
目的（ゴール）		学生の出席情報が表示される
アクター		学生
開始条件(起動トリガー)		学生が出席情報の確認を要求する
事前条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生がログインしていること ・ 学生の履修情報が存在すること
事後条件		なし
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 アクターは、システムに出席情報の確認要求をする 2 システムは、アクターの要求に従って以下の出席情報を表示する <ul style="list-style-type: none"> ・ 月別出席表 ・ 授業別出席表 ・ 月別出席グラフ ・ 授業別出席グラフ
	代替フロー	Alt-1 学生の出席情報が存在しない場合 1.システムは出席率が 0%であることをアクターに提示する 2.メインフロー2に戻る
	例外フロー	Ex-1：学生の履修情報が存在しない場合 1.システムはアクターに履修情報が存在しないことを通知する 2.システムは待機状態に戻る 事後条件 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクターに履修情報が存在しない旨が通知されていること ・ システムが待機状態に戻っていること
備考		

ユースケース名		学生の出席を確認する(UC006)
目的（ゴール）		教員が学生の出席情報を確認する
アクター		教員
開始条件(起動トリガー)		教員がシステムに学生の出席情報の確認要求をする
事前条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザが教員としてログインしていること ・ 学生の出席情報が存在すること
事後条件		なし
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 システムは、アクターに絞り込み検索情報を要求する 2 アクターは、は「学籍番号、授業 ID、授業名、氏名、日付(開始日、終了日)、クラス」で学生の絞り込みを行う 3 システムは、システムは条件に該当する学生の絞り込みに応じた項目を表示する
	代替フロー	Alt-1 学生の出席情報が存在しない場合 1.システムは出席率が 0%であることをアクターに提示する 2.メインフロー1に戻る
	例外フロー	Ex-1：学生の履修情報が存在しない場合 1.システムはアクターに履修情報が存在しないことを通知する 2.システムは待機状態に戻る 事後条件 ・ アクターに履修情報が存在しない旨が通知されていること ・ システムが待機状態に戻っていること
備考		絞り込みフォームは、「授業名」、「日付」、「クラス」はドロップダウンリストで表示する。 氏名、学籍番号は入力フォームで表示する。 開始日を選択すれば、デフォルトで終了日も同じ日付になるようにする。確認する日付がわかっている場合、開始日のみを選択すればよいようにする。

ユースケース名		出席を訂正する(UC007)
目的（ゴール）		教員が学生の出席情報を訂正する
アクター		教員
開始条件(起動トリガー)		教員がシステムに学生の出席情報の訂正要求をする
事前条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザが教員としてログインしていること ・ 学生の出席情報が存在すること ・ UC006 で訂正する出席情報が選択されていること
事後条件		なし
拡張点		なし
関連ユースケース		学生の出席を確認する(UC006)
イ ベン ト フ ロ ー	メインフロー	1 アクターは、システムに出席情報訂正要求をする 2 システムは、学生の出席情報の訂正入力画面表示する 3 アクターは、訂正する出席情報を入力する 4 システムは、訂正する出席情報を確認する。 5 システムは、出席情報の訂正が有効だった場合、出席情報の更新をする
	代替フロー	Alt-1 出席情報の訂正が不正だった場合 1.システムは出席情報の訂正が不正であることをアクターに提示する 2.メインフロー2に戻る
	例外フロー	Ex-1：DB と接続できなかった場合 1.システムは「システムエラーが発生しました」と表示する 2.システムはこのユースケースを中断する 事後条件 ・ システムは待機状態に戻っていること
備考		

ユースケース名		出席を訂正する(UC008)
目的 (ゴール)		マスタメンテナンスをする
アクター		管理者
開始条件 (起動トリガー)		管理者がシステムにマスタメンテナンスをする
事前条件		・ユーザが管理者としてログインしていること
事後条件		・マスタの登録、更新、削除がシステムに反映されていること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イ ベ ン ト フ ロ ー	メインフロー	<p>1 初期画面は、テーブルごとに、「登録」、「更新・削除」ボタンを表示する</p> <p>2. 登録ボタンを押下したとき</p> <p>2.1. システムは入力フォームを表示する</p> <p>2.2. 管理者は教師や学生の情報(ID,名前, メールアドレス,電話番号,住所, 学年, 年齢, 所属カレッジ, 所属学科, クラス, ロール)を入力する</p> <p>2.3. 管理者は登録ボタンを押下する</p> <p>2.4. システムは入力された内容を登録する</p> <p>3. 管理者が「更新・削除」ボタンを押下すると、入力フォームが表示され、検索条件を入力後「検索する」ボタンを押下すると、検索条件にあった学生、教師が表示され、左側にチェックボックスが表示される</p> <p>2-1. 管理者がチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンを押下すると、システムはチェックされた生徒または教師の情報を削除する</p> <p>2-2. 管理者がチェックボックスにチェックを入れ、「更新」ボタンを押下すると、システムはチェックされた生徒または教師の情報の詳細情報を表示する</p> <p>2-2-1. 管理者こそ画面から情報の変更を行うことができる</p> <p>2-2-2. 管理者が「更新」ボタンを押下すると、システムは DB の情報を更新する</p>
	代替フロー	<p>Alt-1 入力内容に不備があった場合</p> <p>1.システムは「〇〇を正しく入力してください」と表示する</p> <p>2.メインフロー2に戻る</p>
	例外フロー	<p>Ex-1: DB と接続できなかった場合</p> <p>1.システムは「システムエラーが発生しました」と表示する</p> <p>2.システムはこのユースケースを中断する</p>

		事後条件 ・システムは待機状態に戻っていること
備考		

ユースケース名		履歴情報を監査する(UC009)
目的（ゴール）		異常値がないかを確認する
アクター		管理者
開始条件（起動トリガー）		時間起動（時刻、間隔は TBD）
事前条件		・ ユーザが管理者としてログインしていること
事後条件		・ 履歴情報の監査の結果が管理者に通知されること
拡張点		なし
関連ユースケース		なし
イベントフロー	メインフロー	1 システムは時刻起動で本ユースケースを起動する 2. システムは履歴情報を監査する 3. 異常値がなかった場合、システムは、異常値がなかった旨を管理者にメールで通知する
	代替フロー	Alt-1 異常値があった場合 1.システムは、異常値があった旨を管理者にメールで通知する 2.システムはこのユースケースを終了する Alt-2 履歴情報が 0 件だった場合 1.システムは、履歴情報が 0 件だった旨を管理者にメールで通知する 2.システムはこのユースケースを終了する
	例外フロー	Ex-1：履歴情報が存在しなかった場合 1.システムは履歴情報が存在しなかった旨を管理者にメールで通知する 2.システムはこのユースケースを中断する 事後条件 ・ システムは待機状態に戻っていること
備考		・ 時間起動だが、起動時刻、間隔は TBD ・ 異常値があってもなくても管理者に通知する。これは、このユースケースが正常に起動されたことの確認のため